

関係者各位

新型コロナウイルス感染症対策に関するスポーツ庁発の
事務連絡(添付 3 枚)を展開いたします。

他団体主催の対策会議で配布された参考資料(添付 2 枚)も
主催者による承諾のもと添えさせていただきます。

令和 2 年 3 月 11 日
日本ビリヤード協会事務局

<以下、イベント開催に関して、スポーツ庁発原文からの引用>

【事務連絡】

本日、総理より、新型コロナウイルス感染症対策専門家会議の判断が示されるまでの間、今後概ね 10 日間程度はこれまでの取組を継続いただくよう御協力をお願いするメッセージが出された事を踏まえ、別添の通り事務連絡をお送りいたします。

本件について、御確認いただくとともに、
加盟・登録団体に対して、周知いただくようお願いいたします。

事務連絡
令和2年3月10日

(重要) 令和2年2月26日に発出したスポーツイベントの開催に関する考え方について、専門
家会議等の情報を元に最新の考え方を示したものです。関係者に周知願います。

独立行政法人日本スポーツ振興センター
各都道府県・指定都市スポーツ主管課
公益財団法人日本スポーツ協会
公益財団法人日本オリンピック委員会
公益財団法人日本障がい者スポーツ協会
各スポーツ関係団体

御中

スポーツ庁政策課

各種スポーツイベントの開催に関する考え方について
(令和2年3月10日時点)

先日、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、様々なスポーツイベントのうち、多数の方が集まるような全国的なスポーツイベント等について、大規模な感染リスクがあることを勘案し、今後2週間に予定されているものについて、中止、延期又は規模縮小等の対応をしていただくようお願いしたところです(令和2年2月26日付け事務連絡)。

そして、昨日、新型コロナウイルス感染症対策専門家会議(以下「専門家会議」という。)より、一定程度持ちこたえているものの、同時に依然として警戒を緩めることはできないという見解が示されました。

また、①換気の悪い密閉空間であった、②多くの方が密集していた、③近距離(互いに手を伸ばしたら届く距離)での会話や発声が行われた、という3つの条件が同時に重なった場で多くの方が感染したと考えられるため、これらの条件が同時に揃う場所や場面を予測し避ける行動をとっていただきたい旨の見解も示されたところです。

さらに、専門家会議では、これまでの対策の効果を判断し3月19日頃を目途に公表する予定としています。

これらの状況を受け、本日、総理より、専門家会議の判断が示されるまでの間、今後概ね10日間程度はこれまでの取組を継続いただくよう御協力をお願いするメッセージが出されたところです。多数の方が集まるような全国的なスポーツイベント等については、大規模な感染リスクがあることを勘案し、今後概ね10日間程度は、中止、延期又は規模縮小等の対応を継続していただくようお願いします。

なお、今後、新型コロナウイルス感染症の感染の状況を見ながら、必要に応じて、最新の情報や追加的な留意事項を提供する場合があります。

新型コロナウイルス感染症については、日々状況が変化しているところであり、下記関連情報ホームページ及びそのリンク先により最新の情報を確認の上、引き続き安全確保に細心の注意を払っていただくようお願いします。

本件について、各スポーツ関係団体におかれては、加盟・登録団体に対して、各都道府県・指定都市スポーツ主管課におかれては、域内の市区町村スポーツ主管課、その他の関係機関に対しても周知されるようお願いします。

記

○関連情報ホームページ

- ・新型コロナウイルス感染症対策本部（第19回）（令和2年3月10日）
https://www.kantei.go.jp/jp/98_abe/actions/202003/10corona.html
- ・新型コロナウイルス感染症対策専門家会議「新型コロナウイルス感染症対策の見解（令和2年3月9日）」
<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000606000.pdf>
- ・文部科学省ホームページ「新型コロナウイルスに関連した感染症対策に関する対応について」
https://www.mext.go.jp/a_menu/coronavirus/index.html
- ・新型コロナウイルスに関連した感染症対策に関する対応について（内閣官房ホームページ）
http://www.cas.go.jp/jp/influenza/novel_coronavirus.html

本件連絡先

(全国的な規模において行われるスポーツ事業(心身の健康の保持増進に資するもの)に関すること)

スポーツ庁健康スポーツ課企画係

電話 : 03-6734-2688 (直通)

E-mail : kensport@mext.go.jp

(全国的な規模において行われるスポーツ事業(学校体育関係のもの)に関すること)

スポーツ庁政策課学校体育室運動部活動推進係

電話 : 03-6734-3777 (直通)

E-mail : staiiku@mext.go.jp

(全国的な規模において行われるスポーツ事業(全国的な競技水準において行われるもの)に関すること)

スポーツ庁競技スポーツ課企画係

電話 : 03-6734-2679 (直通)

E-mail : ksport@mext.go.jp

(国際的な規模で行われるスポーツ事業に関すること)

スポーツ庁国際課企画係

電話 : 03-6734-3949 (直通)

E-mail : skokusai@mext.go.jp

(地域の振興に資する見地からのスポーツ振興事業に関すること)

スポーツ庁参事官(地域振興担当)付企画係

電話 : 03-6734-3932 (直通)

E-mail : stiiki@mext.go.jp

(国際的又は全国的な規模において行われるスポーツ事業のうち、専ら公衆の観覧に供するために行われるもの(プロスポーツを含む)に関すること)

スポーツ庁参事官(民間スポーツ担当)付企画係

電話 : 03-6734-3943 (直通)

E-mail : sminkan@mext.go.jp

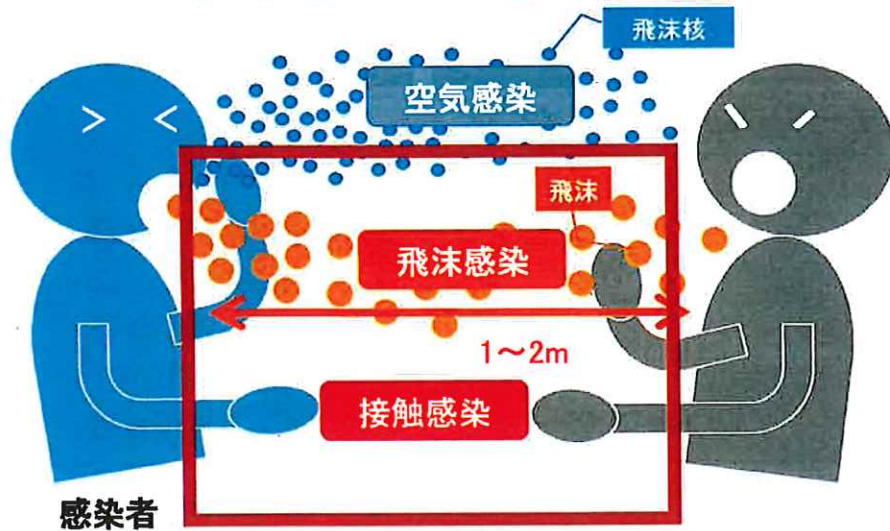
(その他、上記以外のスポーツ事業に関すること)

スポーツ庁政策課企画係

電話 : 03-6734-2673 (直通)

E-mail : sseisaku@mext.go.jp

コロナウイルスの感染経路

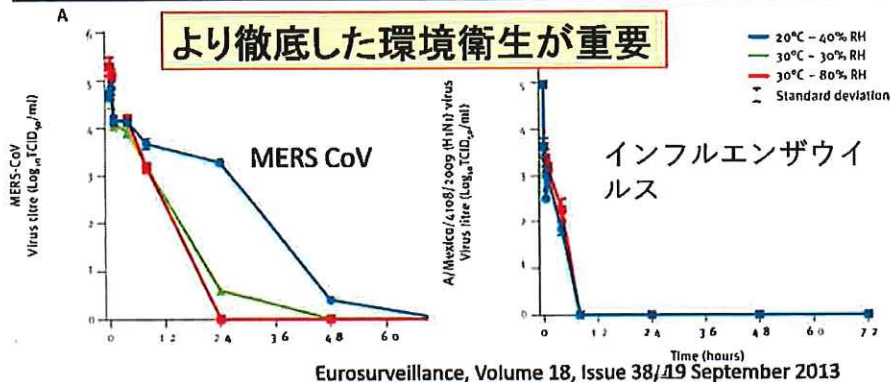


どうやって感染するのか

- **濃厚接触**により感染する
- **濃厚接触**とは以下のような場合とされている
 - 感染症が疑われる発症者と同居している
 - 感染症が疑われる発症者と閉鎖空間で一緒にいた
 - 感染症が疑われる発症者の咳・くしゃみのしぶき、鼻水、排泄物などの体液に直接接触した

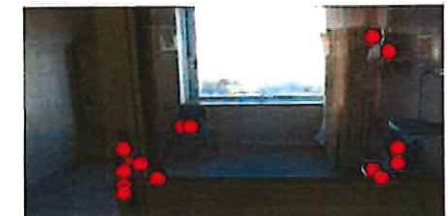
MERS コロナウイルスの環境生存性

- インフルエンザH1N1パンデミックに比較して、環境中に長時間生存するため、接触、飛沫感染のMERS-CoVは、低温・低湿度の環境で48時間生存できる



間接接触感染に注意

環境での注意点: ヒトの手がよく触れるところはウイルスが付着している可能性



多くの人の手の触れる個所や体液が付着しているところなどを消毒する 環境衛生が重要

気づきにくいポイント

感染源あるいは感染の侵入門戸となる
鼻腔・口腔・眼結膜に手を触れること
を出来る限り避ける



空調管理の重要性

- ① 2m 以内の直接対面
- ② 閉鎖空間
- ③ 世帯内接触
- ④ 汚染物質(体液)との接触

・部屋の中のウイルスの数を下げることが肝心
・窓をこまめにあけ、空気を入れ替えをする
(ウイルスの数を少なくする:希釈するという考え)

→ 感染のリスクを下げる

ウイルス密度を下げる工夫が必要

※スタジアムやドーム内はリスクが高い



スポーツにおける感染のリスク

- ・スタンド・ベンチ・ロッカールームに多くの人
- ・1m以内の近い距離にいる
- ・長時間一緒にいる
- ・会話、応援する
- ・食事、飲み物などを一緒にとる
- ・共用トイレを使用する ④

スタンド



ベンチ



ロッカールーム



健康管理・環境衛生の重要性

観客

- ・多人数で密着した状態で長時間過ごし、
応援・飲食、共用トイレなどを使用する
ため、感染が拡大しやすい

プレーヤー・監督・コーチ・支援スタッフ

- ・常に健康チェックが必要
- ・閉鎖空間などでの行動(食事など)に
は十分注意する